



ファミサポ通信秋



この度の地震により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

会員の皆さまにおかれましては、まだまだ不安を抱えながら生活を送られていることと存じます。

宇城市ファミリーサポートセンターは、提供会員の状況をみながら、徐々に以前のファミサポに近づけていきたいと考え、情報収集に努めております。

皆さまのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

裏面には、11月に4日間で開催予定の「提供会員養成講習会」のご案内を掲載しております。子どもが大好きで、子育て支援に興味のある方は、ご参加をお待ちしています。

★フォローアップ講習会のお知らせ★

こども家庭庁より、提供・両方会員さんには、救急法・虐待防止に関する講習を5年に1回は受講していただくことが必須となっております。

是非、ご参加をお願いします。

メディア着けの予防は0歳から！

心当たりはありませんか？
親と一緒に
子どももメディア着けに
なっていませんか？

子どもをあやすためにスマホを見せている
家でテレビやスマホをみせっぱなしにしている
親が子どもから目を離して、スマホを触わっている



メディアによる影響

- ・身体を動かす機会の減少
- ・触れる、聞くなどといった感覚をはぐくむ機会の減少
- ・人とかかわり体験不足
- ・自律神経の乱れ

- ・運動不足
- ・睡眠不足
- ・コミュニケーション不足
- ・視力の低下

心身の発達の遅れ

例えば…

- ・言葉の遅れ
- ・一人遊びが多い
- ・視線が合わない
- ・落ち着きがない
- ・呼んでも振り向かない
- ・突然のかんしゃく

5つの提言

- ①2歳までは、テレビやスマホの視聴をできるだけ控える
- ②授乳中、食事時のテレビやスマホの視聴をやめる
- ③2歳以上のメディアへの接触時間は1日2時間までにする（ゲーム時間は30分以内）
- ④子ども部屋にはテレビやパソコンを置かないようにする
- ⑤保護者と子どもで、メディアを上手に利用するためのルールを作る

愛着形成

親の顔と声と手は、赤ちゃんにとって最高のおもちゃです。



外遊び

五感や体力を育て、毎日が新しい発見や体験の連続です。



生活リズム

しっかりと遊ぶとぐっすり眠り、よく食べるようになります。



集団遊び

ことばや運動能力、社会性（ルールを守る）、相手を思いやる心などが育ちます。



～令和8年度 提供会員養成講習会～

定 員 : 20名 先着順

会 場 : 宇城市不知火支所2階 こどもセンター

募集期間: 10月23日(金)

申込方法: 下記の QR コードまたは電話で申込ください。

※こども家庭庁の通知で掲示されている講習カリキュラム(9項目)

日にち	時 間	講 義	講 師
11月4日(水)	9:30~12:00	開会式 主催者挨拶 オリエンテーション 児童虐待について ファミリーサポートセンター事業について	市こどもセンター長 市こどもセンター係長 市ファミリーサポートセンターアドバイザー
	13:00~14:20	身体の発達と病気	熊本県こども総合療育センター 小児科医 松井 美華氏
	14:30~15:30	お口の基礎組織	歯科衛生士 藤本 由利子氏
11月10日(火)	9:30~12:00	心の発達とその問題	児童家庭センター ぽびんず 公認心理士 高塚 志穂里氏
	13:00~14:00	保育の心・子どもの世話	市こどもセンター 保育士
	14:10~15:30	子どもの心をはぐくむ絵本の読み聞かせ	公共サービス企画カンパニー不知火美術館 関 貴予氏 三角図書館 松下 織絵氏
11月17日(火)	9:30~10:30	小児看護の基礎知識	看護師 緒方 みさ子氏
	10:40~12:00	里親制度について	慈愛園ホーム養育家庭支援センター きらきら 福岡 敏氏
	13:00~15:30	安全・事故	宇城広域連合 南消防署
11月24日(火)	9:30~12:00	子どもの栄養と食生活	市健康づくり推進課 管理栄養士
	13:00~15:00	子どもの遊び	市子育てひろば保育士
	15:00~15:30	事業を円滑に進めるために 会員証交付	市ファミリーサポートセンターアドバイザー

※保育士・看護師の免許をお持ちの方は、免除になるカリキュラムがありますので、お気軽にご相談ください

《お問い合わせ先》

宇城市ファミリーサポートセンター

〒869-0552 宇城市不知火町高良 2273-1

宇城市不知火支所2階 こどもセンター

☎ 0964-27-5353

(担 当 : 中 野)



申し込みはこちら

会員数(R8.8.31)

依頼会員 161人

提供会員 58人

両方会員 5人

合計 224人